

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東北)	◎	一般小売店 [酒]（経営者）	販売量の動き	・3～4月は最悪だったので、それに比べたら今は売れている。
	◎	家電量販店（店長）	来客数の動き	・エアコンやテレビなどの大型商品は、単価も上がり、販売量も前年比120%となっている。特別定額給付金の10万円、それから消費税引上げに伴うキャッシュレス決済のポイント還元による需要喚起が効いたとみている。
	◎	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・在宅時間が増えたため、自宅のインターネット環境を整える人が多くなり、需要が急激に増えている。特にテレワークや、遠隔授業のためにWi-Fi環境がなかった人からの申込みが多い。契約訪問や工事対応も通常に戻ったため、停滞していた工事も一気に進んでいる。
	◎	競艇場（職員）	それ以外	・2月28日から5月31日まで新型コロナウイルスの影響で休業していたため、3か月間の売上はほぼなかった。
	○	一般小売店[寝具]（経営者）	販売量の動き	・二次製品の売上は相変わらず今一つだが、布団の打ち返し等の仕立ての注文は徐々にいただけるようになっている。
	○	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・1人当たりの購入量が増えている。
	○	百貨店（経営者）	販売量の動き	・前月後半から本格的な営業体制に戻ってきた。来客数は新型コロナウイルス禍前に比べ2割減っているが、自粛解禁の動きからか、高額商品が好調である。少しずつ県外からの客も増えている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除に伴い、客足は戻ってきている。売上は前年比71%まで回復しているが、夜間及び土日の客足は戻っていない。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・3か月前は新型コロナウイルスの影響で外出自粛が始まっていたので売上が大きく落ちた。今は自粛が解けて来客数は戻りつつあるが、まだ完全には戻り切っていない。特にホテル下の店舗はまだまだ大きく落ちた状態が続いている。
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数は前年並みだが、単価が上がっている。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は前年比80%台が続いているが、緊急事態宣言解除後は5%以上改善している。特に週末の来客数の回復が顕著である。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3～4月頃と比べ新型コロナウイルス禍の影響が減少し、来客数が戻りつつある。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・6月の緊急事態宣言解除に伴い、人の動きも新型コロナウイルスによる自粛前に戻ってきているが、まだまだ夜の飲食店等からの客の動きは悪い。
	○	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・2～3か月前は新型コロナウイルス感染症防止による自粛で来客数が大幅に減っていたが、少しずつ戻ってきている。
	○	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・家庭でくつろぐための安価なリラクシングウェアのニーズが多い。特別定額給付金の使い道に関して気になるところだったが、ショッピングという選択肢は少ないようである。
	○	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・仕事が再開するなどの環境下で、スーツやスラックス、ワイシャツなどを買い求めて夏の準備をする客が明らかに増えてきており、何とか今月は上向きになっている。
	○	衣料品専門店（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスでの自粛解除後の反動と給付金特需で一時的に売れているようなものである。
	○	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・自粛解除と特別定額給付金により、客の購買モチベーションが一時的に回復している。
	○	家電量販店（従業員）	販売量の動き	・給付金の支給が始まってから我々も生活必需品の販売を始めているが、それらの購入件数及び金額が上がってきている。

<input type="radio"/>	住関連専門店 (経営者)	来客数の動き	・前月までは散々であったが、今月に入り客足が少し伸びてきており、売上も回復の兆しがみられる。学校が再開したことにより、経済活動も少し活発になってきたようである。
<input type="radio"/>	その他専門店 [酒] (経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言解除から少しずつ商品が動いているが、どの程度まで戻るのか見通しが立っていない。今月は想定よりは売上がありそうだが、予断を許さない状況は続いている。
<input type="radio"/>	その他専門店 [食品] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍の影響は前月と比べると幾分落ち着いているが安心はできない。観光客も戻ってきておらず、ギフト需要も思ったほど伸びていない。3か月前と比べて良くなっているようにはみえるが景気は悪い。
<input type="radio"/>	その他専門店 [靴] (従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、結婚披露宴や部活動大会などのイベントが中止となり、靴の需要が落ちている。
<input type="radio"/>	その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	来客数の動き	・営業自粛解除後、客足は伸びてきているものの、土産、飲食は前年比50%以下である。多少の上向きはみられるものの、全体的な景気はまだだである。
<input type="radio"/>	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・6月の2週目辺りから徐々になじみ客が戻りつつある。しかし、前年比では50~60%であり、厳しい状態が続いていることに変わりはない。
<input type="radio"/>	観光型旅館 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスによって一時ストップした経済活動が再び動き始めている。まだまだ慎重なようであるが、行政による支援もあり徐々に戻ってきているようである。
<input type="radio"/>	観光型旅館 (スタッフ)	販売量の動き	・県の事業として県民限定宿泊助成補助金が実施され、域内需要が微増ではあるが増えている。
<input type="radio"/>	通信会社 (営業担当)	販売量の動き	・ここ数か月、前年比で3~4割減少していた販売量が、6月は1割程度の減少となっている。
<input type="radio"/>	観光名所 (職員)	それ以外	・3か月前がひどすぎるという状況で、3か月前のどん底を考えると幾らか良くなっている。ただし、例年と比べると非常に悪い状態が続いている。
<input type="radio"/>	美容室 (経営者)	来客数の動き	・3か月前は新型コロナウイルスの発生時期であり、外出自粛等いろいろなきことが起こり始めた月であった。それと比較すれば当然改善しており客が増えている。
<input type="radio"/>	その他住宅投資の動向を把握できる者 (住宅展示場運営会社)	来客数の動き	・平日、週末の来場者数が向上しており、前年比で約6~7割になっている。
<input type="checkbox"/>	商店街 (代表者)	来客数の動き	・集客や客の出入りが厳しい状況は、外出自粛解除後も続いている。
<input type="checkbox"/>	商店街 (代表者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる自粛が終了し、助成金が配布されて上向くかと思われたが、再度感染者が出る事態となっているなど、先が見えない状況に左右されている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [書籍] (経営者)	販売量の動き	・全体的に好調な商品が乏しい。3か月前と現在とでベストセラーになっているものがほとんど変わらず、景気を計り切れないというところがある。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [医薬品] (経営者)	お客様の様子	・売上は前年比125%となっている。中身をみると、一般医薬品、化粧品、雑貨は前年を下回っており、新型コロナウイルスに関連した商品が動いている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [酒] (経営者)	お客様の様子	・ようやく今月中旬頃から客も様々な対策を講じながら営業を再開し始め、商品の配達も少しずつ出てきている。旅館も県内在住者対象の宿泊キャンペーンの実施などにより動き始めたが、以前の状況にはまだまだ程遠い。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (買付担当)	お客様の様子	・通常営業になり来客数は戻りつつあるが、前倒したクリアランスセールは思ったほどの盛り上がりがない。一方で先行して実施したなじみ客向けプレセールでは例年どおりまとめ買いが目立つ等、客によって消費動向は分かれている。

□	スーパー（経営者）	単価の動き	・6月は平均1品単価が前年を大きく超えている。ただ、価格強調商品の動きは余り良くない。無駄な買物はしない傾向が見て取れる。来客数も減少傾向が続き、買上点数も前年割れが続いている。良くない傾向が続いている。
□	スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による来客数増加の状況は落ち着き、以前の状況に戻ってきている。
□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、自粛が解除されても客の動きが元に戻るような気配がなく、3か月前と変わらない。
□	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・3月は新規来場が月末に掛けて減少傾向になり、4月以降外出自粛が解除になった5月連休明けまでは前年比50%以下であった。6月は僅かだが来客数は上向き傾向にあるものの、大きくは増えていない。
□	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後から来客数が増えつつある。また、滞在時間も徐々にではあるが伸びてきている。
□	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・6月中旬からランチ営業を再開している。3か月前と比べて、少しではあるが来客数が増えている。
□	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・緊急事態宣言が終了し、県をまたいでの移動制限も解除になり、業務のための出張需要が動き始めた。そして、観光需要においては、県内の宿泊需要が動き出す。しかしながら、まだまだ新型コロナウイルスの感染の可能性があるため、広域での観光性需要は発生していない。
□	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスにより来客数、販売が完全に消失しており、雇用調整助成金頼みの状況である。県をまたぐ移動が可能となり人の動きが活発になりつつあるものの、販売業である我々の業界にはいまだ結び付いていない現状である。
□	遊園地（経営者）	来客数の動き	・土日はまずまずだが平日が低調である。今月が山場の学校、団体がキャンセル、延期となり、前年を大きく割り込んでいる。
□	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・移動の制限は解除されたが、依然としてビジネスでの出張などは控えられているので低調である。
□	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・戸建て用地供給数は増えているが、賃貸物件、特に飲食店等の解約が増えている。
□	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	販売量の動き	・住宅設備器具販売はエアコン工事が急増している。また、エアコンを中心としたハウスクリーニングも増えている。リフォーム工事は増改築工事が減っている。
▲	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・健康に対する不安が高まっているせいか客単価は上昇している。一方、来客数は前月に増して低下傾向がみられ、全体としての売上はやや悪い状況である。
▲	一般小売店〔カメラ〕（店長）	来客数の動き	・来客数は徐々に回復してきているものの、まだまだ売上確保が厳しい状況が続いている。
▲	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・3月は地域的状況として経済活動面への新型コロナウイルスの影響はまだ小さいものであったが、4～5月の全国的な対応を経て、特に御年配層の方々が外出や消費活動に慎重になっているものと思われ、売上低迷につながっている。
▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・5月の売上前期比118%に対して、6月21日現在で同109.7%となっている。良い前提ではあるが、その伸びが小さくなってきている状態である。
▲	スーパー（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染防止で内食傾向にあったが徐々に通常に戻りつつある。買い置き需要も減り、客単価、来客数は前年割れが始まっている。
▲	スーパー（営業担当）	来客数の動き	・週を追うごとに来客数の減少がみられる。外出規制の緩和から、外食、観光への関心も増えてきているため、内食需要が減退してきている。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・夕夜間の客足がまだ戻らない。この時間帯は特に客単価が高い時間帯なので、売上が上がらず苦戦している。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きい。

▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・市内のコンビニは皆そうだが、土日に人が動いておらず、あるいは学校行事もないということで人の動きがない。平日はますます戻ってきているが、土日の落ち込みがなかなか回復してこない。客数的になかなか苦しい状況である。
▲	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大のなか緊急事態宣言で来客数も激減し、ギフト商品も結婚式や葬儀もなく、親族での挙行が増加したため売上減が著しい。
▲	衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で5掛けだったのが、今月は8掛けまで戻ってきているが、前年確保にはなっていない。
▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・3月時点ではまだそれほど景気が悪い状況ではなく受注もそこそこ上がっていたが、今月はほとんど受注が上がらず、新型コロナウイルスの影響がかなり出ている。
▲	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・受注生産品を扱っており、ある程度の受注残があるため生産、納品しているが、受注量の減少によって販売量が減少しているという状況である。
▲	その他専門店 〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・相変わらず飲食店、観光地からの注文はほぼなしの状態である。また、いろいろな業種で様子見をしたり購入を控えたりしている様子が見える。全体的に夏物の受注も芳しくない状況で、前年比約2割減で推移している。
▲	その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除に伴い、ピーク時の落ち込みからは回復しているものの影響は残る。人の移動に伴う燃料需要は、今後の第2波に備え、完全に戻るとはみていない。
▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の設備投資意欲について、よりネガティブな印象を受ける。
▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で最低限のものしか売れない。また、新規商談ができない。
▲	観光名所（職員）	来客数の動き	・営業自粛や県をまたいでの移動制限が解除となったが、いまだ客足は伸びない。新型コロナウイルス感染リスクがある観光施設としては防疫面で全面営業が難しく、問題発生以前のようなサービスを提供できていない。席数も制限せざるを得ないため予約要望に対応できない状態である。
×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で地元商店街の来街者数は4～5月と大幅に減少したが、6月は緊急事態宣言解除もあり固定客を中心に客入りが戻ってきている。しかし、新型コロナウイルス感染の不安感から生活必需品以外の消費は落ち込んでおり景気は悪化している。
×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・6月1日から通常営業を復活した飲食店がかなり多くなっているが、人混みがあるのは金曜日と土日に限り、その他の曜日は全く人が出てきていない。そして、人の引上げも非常に早く、夜の12時には人が全くいなくなり、店も閉まってしまう。当店でも来客数がなかなか戻らず、3か月前の約半分がやっと戻ったかという状況である。
×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言も解除され、地元でもここ1か月以上、新型コロナウイルス感染者が出ていない。キャッシュレス・消費者還元事業も間もなく終了であるが、駆け込み需要は起こっていない。
×	乗用車販売店（本部）	販売量の動き	・緊急事態宣言解除後も、県内市場の落ち込みは戻る気配がない。客足、販売量共に前年を大きく下回る状況である。新車の販売台数は前年比60%と現状かなり苦戦している。収益状況も比例して悪化が著しい。
×	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数、売上共に悪い。
×	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・どん底ではあるが、月末に近くなって少しは客の動きが出てきている。ただし、大人数の会もないし、前年の半分にもいかない。また、来月の予約状況も良くない。

	×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・我々のような夜食、夜の商売は新型コロナウイルスの影響がかなり響いており、回復率も30～50%くらいである。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍の影響で人が全く出てきていない状態である。ただ唯一、給料日後に少し客の入りがあったことが希望の光である。
	×	一般レストラン (経営者)	競争相手の様子	・新型コロナウイルスについてはまだまだ未確定要素があるので、県をまたいで仕事や観光をしてもよいとなっても、万が一感染して家庭や会社の取引先までも巻き込んでしまうことがないよう、外食を避ける傾向が続いている。地元客で成り立っている店は回復傾向にあるが、県外客やインバウンドで商売をしていた店は持続できないのではないかと。観光立国はアベノミクスで頑張っていたが、図式が崩壊している。
	×	旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・観光業においては新型コロナウイルスの影響で依然として悪化傾向にある。海外需要は渡航制限による出入国規制が解除されない限り、アウトバウンド、インバウンド双方の需要は見込めず、6月も取扱ゼロ状態が続いている。国内需要は都道府県をまたぐ移動が可能となり、個人需要において少しずつ取扱が発生しているものの、需要回復までのレベルまでには到底追い付いていない。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が出ている。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルス対策での外出自粛解除後もまだまだ客の動きがみえない。
	×	タクシー運転手	競争相手の様子	・利用客がいないため、市内で営業をしているタクシーの台数が新型コロナウイルス前に戻っていない。気温も30度近くになる日があるなか、タクシーの利便性が発揮できない日々が続いている。
	×	通信会社(営業担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍の影響で飲食業を始め製造業などでも倒産が一気に増加しており、失業者も出ている。食品販売等一部の業種では売上が伸びているところもあるが、全体ではかなり景気が悪くなっている。
	×	美容室(経営者)	お客様の様子	・客の来店間隔が伸びている。
	×	設計事務所(経営者)	お客様の様子	・医療関係の客から、新型コロナウイルスの影響で市内の病院において経営者が変更になる事案が発生し、拡大しているとの話を聞いた。新型コロナウイルス感染症が早期に収束しなければ、経済的な損失だけでなく、日常生活に必要な機能も失われるのではとの危機感を持っている。
企業 動向 関連 (東北)	◎	—	—	—
	○	電気機械器具製造業(営業担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響による自粛が始まった当初と比較すると、町にも活気が戻りつつあり、少しずつ景気も良くなっている。
	○	広告代理店(経営者)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で売上を大幅に落としていたが、ここにきて客や県、自治体の案件が動き出している。
	○	経営コンサルタント	それ以外	・県外への移動の緩和により人の流動性が高まっており、少しずつ消費を上向かせつつある。
	□	農林水産業(従業者)	それ以外	・地元温泉旅館のパート従業員から、今月もほとんど仕事がない状況で大変困っているという話を聞いている。
	□	農林水産業(従業者)	受注価格や販売価格の動き	・さくらんぼの出荷価格は大幅下落する予想に反して近年にない高値であったが、不作のため収益増加とはなっていない。
	□	食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・4～5月から比べると人の動きは良くなっている。郊外の店舗の売上はかなり回復している。しかし、駅、空港、観光地の店舗は観光客が少ないので売上は半分以下である。19日の県をまたぐ移動自粛解除以降は少しにぎわってきている。
	□	電気機械器具製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響はあるが、電子部品業界としてはプラス要素とマイナス要素が共存するため、大きな変化にはなっていない。
	□	通信業(営業担当)	取引先の様子	・客の反応をみる限り、いまだ対面営業しにくい環境下である。

	□	広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・商店街は日常に戻り、人も復活しているので、少しずつではあるが消費喚起を促す広告発注も増え始めている。最悪の状態は脱しつつあるが、それでも今月の広告売上は前年には遠く及ばない状況である。
	▲	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量が前年比で10%ダウンしており、在庫過多の商品も発生している。工場稼働率も下がっている。
	▲	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・売上高は3か月ほど前から落ち込んでいる。最大で前年同月比で40%の落ち込みとなっており、6月も前年同月比で20%ほど落ち込んでいる。
	▲	窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・公共、民間需要の減少傾向の中で、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、出荷量は低調となっている。
	▲	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、事業そのものが減少したり、発注手続が遅れたりしていることなどにより、全体的に受注量は減少傾向にある。
	▲	建設業（企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス禍の影響で、客先の設備投資計画が延期や規模縮小、中止となる案件が散見される。
	▲	金融業（営業担当）	取引先の様子	・自粛解除になり、プレミアム付商品券等による飲食業、宿泊業への応援はあるが、客の戻りは鈍く、様子見の状況が続いている。
	▲	金融業（広報担当）	取引先の様子	・飲食業はテイクアウト頼みから通常営業に戻りつつあり、底を打った感はあるものの、客足は従前の水準までは戻っていない。観光業はインバウンド需要が消えて以降、国内ニーズの捕捉に努めているが、目立った業況改善はまだ見られない。
	▲	コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・客は通常どおりに戻りつつあるが、設備投資となると様子をみている状況で商談が進みにくくなっている。受注案件も少なくなってきたり、金額も小ぶりである。
	×	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され6月からは売上は少し回復したが、他県からの観光客等が回復しないため、前年同月比では半分以下で厳しい。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・イベントが軒並み中止で印刷物の受注が減少している。学校の混乱でP T A関係の印刷物が減少。情報誌を発行しているが広告や求人広告も減少している。
	×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客からの情報は前月よりも不透明になり、追加の減産が予想されるような状況である。
	×	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が更に広がっている。5月の売上は予想以上に悪く、前年比で20%以上減少している。
	×	公認会計士	取引先の様子	・客の月次、決算状況から判断している。小売、飲食業、塾経営の客は軒並み悪化。これに対して、一部小売、建設業はこの時期に業績が向上している。相反する状態の客が混在しているが、全体的には悪化している企業が多く、3か月前より景気が悪化している。
	×	その他非製造業 〔食料品卸売業〕（経営者）	取引先の様子	・取引先であるスーパーの様子をみても、客が支給された特別定額給付金を使っている様子は見受けられない。客足も余り良いようにはみえず、以前とは様変わりしている。
	×	その他企業〔企画業〕（経営者）	取引先の様子	・セミナー関連の受注数ゼロが続いている。新しい生活様式を拡大解釈しているのではないかといった場面によく出会う。工夫した解決可能策を提案するも、密の一言で片付けられる。行き過ぎた用心がまん延し経済活動の足を引っ張っている。
雇用 関連 (東北)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・3～4月で求人が終了した企業から求人を頂くケースが増えてきており、案件数が増加してきている。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同期比で減少しているが減少幅が4割から2割弱へと小さくなっている。

□	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・緊急事態宣言が出されている状況の中では新卒採用、中途採用共に不透明な状況であったが、6月に入って、若干人数は少ないものの新卒採用活動を復活する、若しくは中途採用を開始するという企業が、特に中堅中小企業において増えてきている。当初厳しいホテル、旅館、飲食業は相変わらず厳しい状況ではあるが、建築や不動産、商社などが新卒採用の活動を継続するという状況になっている。
□	新聞社 [求人広告] (担当者)	周辺企業の様子	・地場企業の広告の動きは鈍いままで、上向く気配がみえない。
▲	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で人員調整を図る企業が出てきている。今後、ワクチンが開発されるなど安心して働ける環境にならない限り、この状況が続く可能性が極めて高い。
▲	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、求人が減少傾向にある。
▲	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響が出ていることは間違いない。
×	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・人材派遣の受注数が7割減と未曾有の減少幅になっているが、新規登録者が増加しているわけではなく、現時点では縮小均衡での負の方向である。
×	人材派遣会社 (社員)	採用者数の動き	・外資系企業の派遣スタッフ終了、大手企業のリモートワーク推進により、北日本で支店を展開する必要がなくなってきた。
×	アウトソーシング企業 (社員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響でかなりの数の会議が中止になっている状況は変わっていない。
×	新聞社 [求人広告] (担当者)	求人数の動き	・緊急事態宣言解除後、少しずつ地元経済界も動き出しているが、求人には至っておらず、5月に続き求人数は半減以下である。特に主要業種である流通、飲食、サービスが戻らず厳しい状態が続いている。
×	職業安定所 (職員)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響が広範囲な業種に及んでおり、新規学卒向け求人の減少や廃業、雇用調整の動きが進んでいる。
×	学校 [専門学校]	それ以外	・新型コロナウイルスの影響からまだまだ脱却できず、沈滞ムードである。